

# 日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 29 No. 1 (通巻 76 号)  
2017 年 7 月 15 日

## ～第 37 回大会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 石田正昭  
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階  
JC 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局  
TEL: 03-6280-7254 FAX: 03-3268-8761  
E-mail: kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp  
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

## 日本協同組合学会 第 37 回大会のご案内

開催日: 2017 年 9 月 22 日(金)・23 日(土)・24 日(日)

会 場: 徳島大学 常三島キャンパス (徳島市南常三島町 2-1)

### < 徳島空港・神戸三宮などからのアクセス >

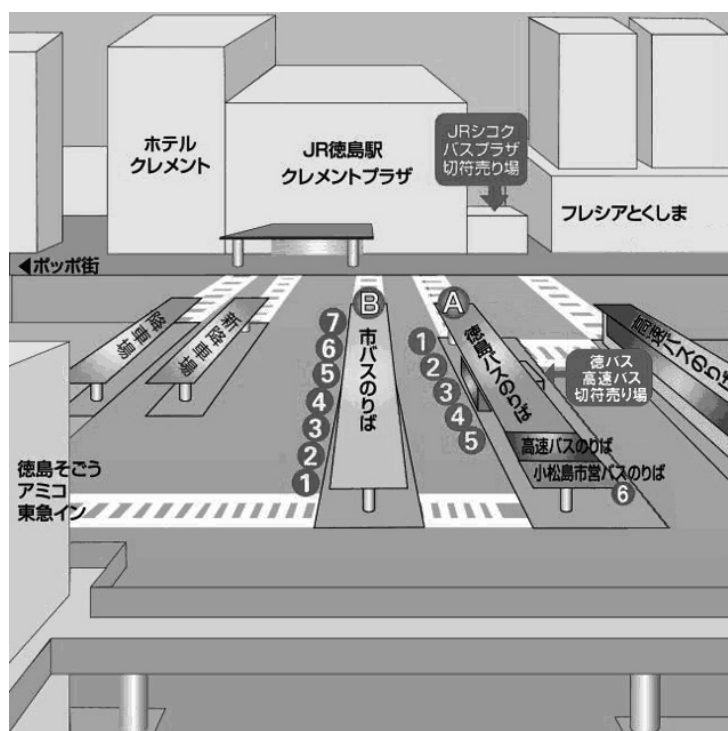
- 徳島空港 → 徳島大学常三島キャンパス  
リムジンバス (徳島バス): 「徳島大学前」下車 運賃: 片道 440 円
- 神戸三宮など → 徳島大学常三島キャンパス  
高速バス (阪神バスなど): 「徳島大学前」下車 運賃: 片道 3,000～3,500 円
- ※ 関西国際空港～徳島駅前のリムジンバスは「徳島大学前」に停まりませんのでご注意ください。

### < JR 徳島駅からのアクセス >

- ① 徒歩: 2km 程度 (約 30 分)
- ② タクシー: 700～800 円程度
- ③ バス利用

※徳島駅前のバス乗り場は  
右の図の通りです。

※2 頁に徳島駅前発の  
バス時刻表を掲載しました。



## < バス時刻表 >

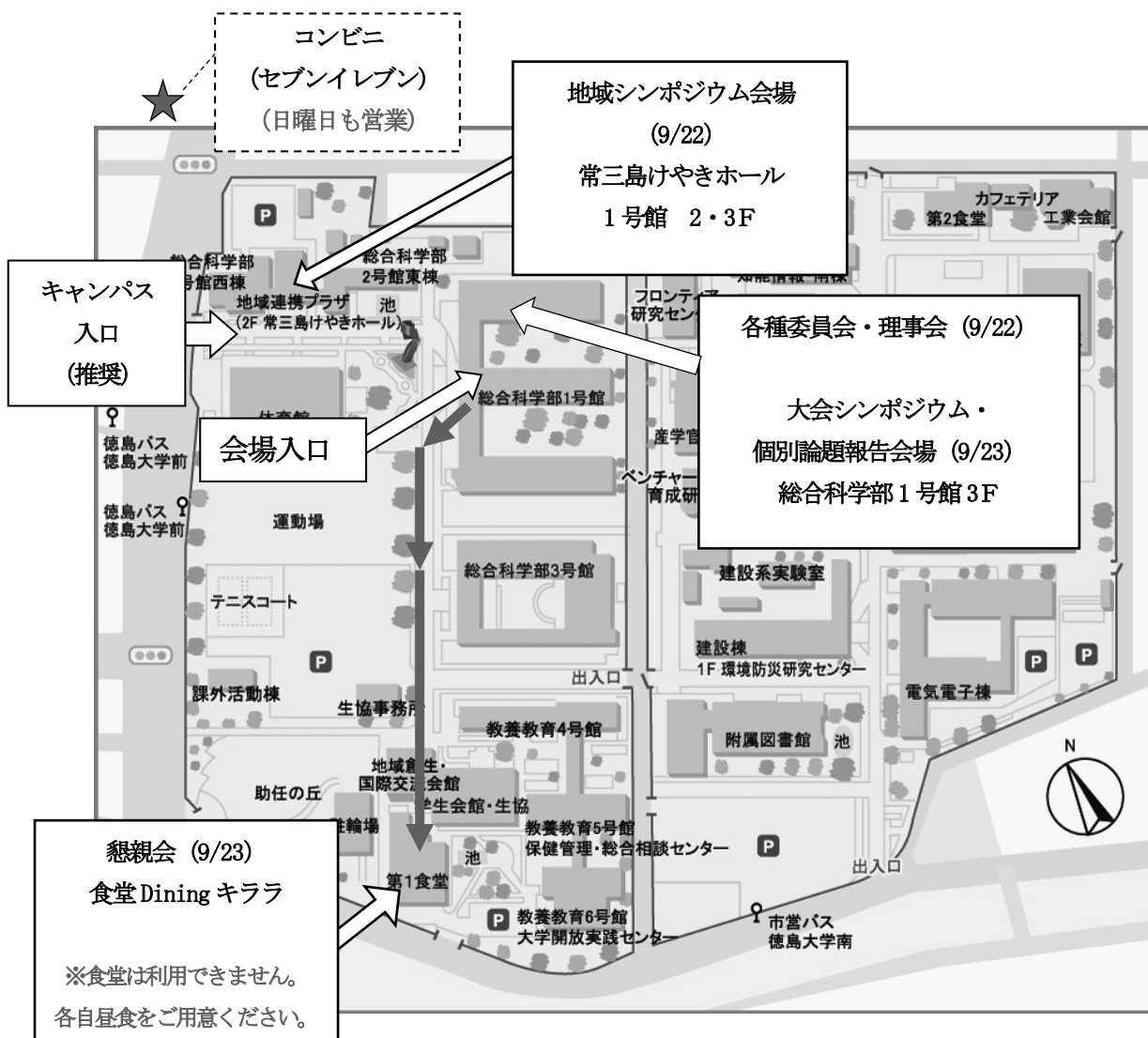
のりば	バス会社	路線番号	路線名	行き先	停留所名	出発時刻(土日のダイヤ)						
						6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
A①	徳島バス	23	鳴門線	小鳴門橋(東発経由)	大学前	7:00						
	徳島バス	27	鳴門線	鳴門公園(東発経由)	大学前			8:00	9:00 9:30	10:00	11:00	12:00
	徳島バス	15	鳴門線	鳴門教育大・ウチノ海公園	大学前	7:30	8:30	10:30				
	徳島バス	16	鳴門線	小鳴門橋(バイパス・中喜来経由)	大学前							11:30
A③	徳島バス	28	鍛冶屋原線	鍛冶屋原車庫行(住吉・板野経由)	大学前	7:30	8:30 8:55	9:30	10:10	11:20	12:25	
	徳島バス	29	鴨島線	鴨島駅前	大学前	8:40		11:55				
B⑤	徳島市営	31	中央環状線	左回り	助任橋・徳島大学前	6:55	7:25 7:55	8:30	9:00 9:35	10:00 10:35	11:00 11:35	12:00 12:35
	徳島市営	5	商業高校線	徳島商業高校前	徳島大学南	7:55						12:00
B⑥	徳島市営	32	東部循環線	右回り(商業高校方面)	助任橋・徳島大学前	7:20	8:25	9:25	10:25	11:25	12:25	
	徳島市営	3	中央市場線	中央市場(マリンターミナル)	助任橋・徳島大学前	7:30	8:40	9:10	10:20	11:35		
B⑦	徳島市営	なし	川内循環線	左回り(富吉団地/川内支所方面)	助任橋・徳島大学前	8:00		10:10	12:00			

※ 停留所は、「大学前」あるいは「助任橋・徳島大学前」で降りて下さい。(※運行バス会社で名称が異なる為)。

※ いずれも徳島駅から4・5つ目の停留所になります。所要時間5～10分。運賃210円。

※ B⑤のりば発の「徳島商業高校前」行きバスの利用の際は、「徳島大学南」で下車して下さい。(※お勧めしません)

## < 会場案内図 >



## < 大会スケジュール >

### 第1日目 9月22日 金曜日

- 地域シンポジウム 13:30~16:30
- 理事会 17:00~18:30

### 第2日目 9月23日 土曜日

- 個別論題報告・テーマセッション 9:15~11:45 (予定) 確定次第、HPにアップします。
- 大会シンポジウム 13:00~17:00
- 臨時総会、学会賞表彰、新理事会 17:10~18:00
- 交流会 18:15~19:50

### 第3日目 9月24日 日曜日

- エクスカージョン 8:15~17:15 (予定)

## < 申込案内 >

基本参加費：会員 1,500 円 非会員 2,000 円 (報告要旨集のみ希望者 1,800 円)

地域シンポのみ参加の場合、資料代のみ 500 円。

交流会参加費：一般会員 4,000 円、学生会員 3,000 円 (参加申込ハガキでの事前申込)

エクスカージョン：5,500 円 (昼食代込み、定員先着 40 名、参加申込ハガキでの事前申込)

☆同封の参加申込ハガキに必要事項を記入の上、**9月1日(金) 必着**で送付して下さい。

また、学会参加者・報告要旨集希望者は、必要な代金を下記口座に**9月15日(金) までに**振り込んで下さい。

### < 振込口座 >

郵便振替	加入者名：日本協同組合学会	口座番号：00140-5-557520
農林中央金庫	本店 (958) 日本協同組合学会	口座番号：NO. 5026910
三井住友銀行	飯田橋支店 日本協同組合学会	普通預金 / 口座番号 NO. 7033961

## < 宿泊について >

各自手配して下さい。徳島市内のホテル数は比較的少ないため、是非とも早めの手配をおすすめいたします。

## < 第1・2日目の昼食について >

9月22日(金)は大学生協食堂が営業していますが、大会2日目の9月23日(土)は営業していません。9月23日(土)は、各自、昼食を準備して下さい。

## < 実行委員会連絡先 >

徳島大学生物資源産業学部 (〒770-8014 徳島市南常三島町2-1)

実行委員会事務局 玉 真之介・橋本 直史

TEL: 088-656-7178 or 088-656-5204

メール tama@tokushima-u.ac.jp

hashimoto.naoshi@tokushima-u.ac.jp

### < 学会事務局からのお願い >

○当日は受付での混雑が予想されますので、事前申込と事前支払へのご協力をお願いいたします。

○会場へは受付を済ませてからお入りください（第2日目からご参加の場合も同様です）。

○会期中は、受付でお渡しするネームプレートの着用をお願いいたします。

※近年、受付を済ませないまま、必要な参加費を支払わずにシンポジウムや交流会等に参加する方が見られるようですので、上記のとおり注意喚起をさせて頂きました。

### < 大会時の保育スペースの設置について >

春季大会に続き、今大会も設置する予定です。ご希望の方は、8月末日までに、学会事務局（JC 総研）ならびに開催校実行委員会（徳島大学）までご連絡・ご相談ください。

## 9月22日（金） 地域シンポジウム

日 時： 9月22日（金） 13：30～16：30

会 場： 徳島大学総合科学部 常三島けやきホール

テーマ： 協同組合の志 —協同社会を地方から—

解 題：

過去30年続いてきた新自由主義とグローバル化の時代も転換点を迎えている。その根底にあるのは“格差”と“貧困”であり、「成長」幻想の崩壊と「雇用」への焦点の移行である。そこでも見逃せないのは、資本主義経済の腐朽化とも言える現象である。日本を代表する企業である東芝が何年も粉飾決算を続け、ドイツを代表するフォルクスワーゲンも長期にわたって排ガスの検査不正を続けてきた。「日本企業の不正に関する実態調査」（株式会社KPMGFAS、2016）によれば、過去3年間に上場企業の3社に1社が不正を行っていた。新自由主義とグローバル化がもたらしたものは、格差と貧困のみならず、「株式会社」というシステムにおけるモラルの毀損である。

この中で疲弊してきたのが地方である。であれば、その再生はもはや「成長戦略」といった幻想に惑わされることではないだろう。この地域シンポジウムでは、まず、最初に、賀川豊彦に立ち返って協同組合運動の先に賀川が構想していた「協同社会」を改めて確認する。続いて、地方の再生・活性化で成果をあげる2つの実践事例の報告をしていただき、「株式会社」というシステムを活用する意味を含めて、協同の地域づくりについて議論したい。

座長解題 「脱グローバル化の時代と協同組合」

玉 真之介（徳島大学教授）

第1報告 「賀川豊彦の協同組合運動と社会改造論」

小南 浩一（兵庫教育大学教授）

第2報告 「生涯現役社会の作り方」

横石 知二（株式会社いんどり代表取締役社長）

第3報告 「まちづくりの事業化による自立モデルの構築」

大津 清次（株式会社地域法人無茶々園代表取締役）

質疑応答とディスカッション

## 9月23日（土）午前 個別論題報告・テーマセッション

日 時： 9月23日（土） 9：15～11：45

会 場： 徳島大学総合科学部1号館3F（301、302、303、304、305、学部ゼミ室3）

○ 報告時間：報告 20 分、質疑 10 分

○ 第1 報告：9:15～9:45 第2 報告：9:45～10:15 第3 報告：10:15～10:45

第4 報告：10:45～11:15 第5 報告：11:15～11:45

会場	報告順	報告タイトル	報告者	所属
第1 会場 (総合科学部 1号館 301)	第1 報告	矛盾を止揚する場としての協同組合—福島のJA 職員に今求められること—	佐藤 和希	福島県農業協同組合中央会
	第2 報告	ワークライフバランス施策の実態と課題—福井県JA花咲ふくいの事例を中心として—	段野 聡子	福井工業大学経営情報学科
	第3 報告	アクティブ・メンバーシップ発揮における営農指導員の役割—広島県の女性営農指導員に着目して—	青木 美紗	奈良女子大学
	第4 報告	循環する承認と配慮への提言—ある労働統合型社会的企業で働くスタッフたちへのインタビューを手がかりとして—	森 瑞季	大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程
第2 会場 (総合科学部 1号館 302)	第1 報告	農業協同組合における経営管理の高度化	川野 克典	日本大学商学部
	第2 報告	フランスにおける農協の動向と農業指導の特徴	小池 恒男	(一社)農業開発研修センター
	第3 報告	自由市場経済における協同組合の経済効率性～非対称情報と消費者限定合理性が生協に与える優位性を中心に～	安藤 信雄	中部学院大学・経営学部
	第4 報告	生協は格差社会の共犯者であったか？—19世紀末フランスの動向と連帯を考察すると—	鈴木 岳	公益財団法人生協総合研究所
	第5 報告	オーストラリアにおけるポストIYCの影響—BCCMの設立から考察する協同組合におけるナショナルセンターの意義	阿高 あや	一般社団法人JC 総研
第3 会場 (総合科学部 1号館 303)	第1 報告	東日本大震災における民間及び非営利・協同セクターの漁業支援	阿高 麦穂	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科後期博士課程
	第2 報告	電力の「地産地消」と「産消連携」の展開—事例にみる協同組合の主導的役割発揮の重要性—	河原林孝由基	(株)農林中金総合研究所 ／北海道大学大学院農学院博士後期課程
	第3 報告	農業協同組合による保育所運営参入に関する考察	間々田 理彦	愛媛大学農学部
			木原 唯	総務省四国通信局
			松岡 淳	愛媛大学農学部
第4 報告	暮らしと地域の自治を保全・創造する～イタリアにおけるコミュニティ協同組合の台頭とその課題～	田中 夏子	農園 Vento e Terra (風と土) 園主	
第5 報告	地域の新しい協同をみる ソーシャルビジネスとしての4者間連携	近本 聡子	公益財団法人生協総合研究所	

第4会場 (総合科学部 1号館 304)	第1報告	農業分野における外国人技能実習制度の活用とJA・事業協同組合の新たな役割	軍司 聖詞	早稲田大学地域・地域 間研究機構
	第2報告	食品分野における中小企業協同組合の今日的意義に関する考察—福島県食品生産協同組合を事例に—	則藤 孝志	福島大学
	第3報告	事業協同組合の自主・自立性について	堀井 真理生	福井県中小企業団体中 央会
	第4報告	我が国におけるオリーブによる地域振興に関する報告 ～香川県小豆島を事例として～	河下 誉	広島大学 大学院生物 圏科学研究科
	第5報告	福島県阿武隈山地の農村における地域づくり運動の一 展開	林 薫平	福島大学経済経営学類
第5会場 (総合科学部 1号館 305)	第1報告	クレジットユニオンにおけるコモンボンド	谷川 孝美	日本大学非常勤講師
	第2報告	賀川豊彦の協同組合保険論とその現代性—学生総合 共済を事例に—	美田 有希	徳島大学大学院総合科 学教育部博士前期課程
	第3報告	ROSCAsの集団思想と協同組織金融思想との分水嶺	長谷川 勉	日本大学商学部
	第4報告	地域社会福祉実践のための協同組合運動—原州協同 社会経済ネットワークの事例を通して—	千 恵蘭	佛教大学大学院社会福 祉学研究科博士後期課 程
	第5報告	「社会的連帯経済」のグローバルな展開と協同組合の 課題	丸山 茂樹	参加型システム研究所
第6会場 (総合科学部 1号館3階 学部ゼミ室3)	テーマセッション「歴史と思想から考える協同組合運動の多様な可能性」			
	第1報告	農村をめぐる先駆者たちの闘い—賀川豊彦と岡本利吉	伊丹 謙太郎	千葉大学人文科学研究 院
	第2報告	戦後日本における電気生協の広がり	三浦 一浩	地域生活研究所
	第3報告	ワーカーズコープ論再考—マルクスと柄谷行人を素材 として	中野 理	日本労働者協同組合連 合会
	第4報告	農業協同組合による「高齢者福祉」という活動領域の生 成	川上 裕子	亀田医療大学

※ 座長（依頼中）につきましては、近々、ホームページに掲載をいたしますので、お手数ですが、そちらをご確認ください。

※ 個別論題報告等の要旨は、事前に学会HPにアップしますのでご確認ください。  
(当日の大会要旨集には掲載しません。)

※ 報告者が報告に使用するパワーポイントのデータについて、  
→パワーポイントのデータは、パソコンとの不具合を避けるため、必ずPDFに変換したものを  
使用するようにしてください。

→事前に送る場合は、メールにて「実行委員会連絡先」(3頁に掲載)にお送りください。

→直接会場に持参する場合は、報告当日の朝8時30分までにUSBメモリにてお持ちください。

## 9月23日（土）午後 大会シンポジウム

日 時： 9月23日（土） 12：45～16：15

会 場： 徳島大学総合科学部1号館3F

テーマ： **新たな社会観の構想と非営利・協同のネットワークの課題を考える**（仮題）

### < 座長解題 >

グローバル経済・市場原理主義の暴走、東日本大震災・原発事故など制御不能な社会基盤が動揺するなかで、成長・福祉国家・安全といった「神話」の崩壊がはじまっている。一方で、少子化など右肩下がりの「縮小均衡」社会にあって、労働者が非正規などさまざまな雇用形態に引き裂かれ、雇用形態が階層化し身分化し、格差・貧困問題が抜き差しならないところまできている。政治と民主主義が劣化、コミュニティなど個人と国家・社会システムとの間の中間集団の空洞化も著しい。そうしたなかで、経済や福祉と民主主義の結合、コミュニティの再構築など新たな社会観の構想に向けたパラダイムの転換が求められている。

昨年11月、ユネスコは「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」について無形文化遺産への登録を決定した。しかしながら、昨今の執拗な農協バッシングにみられるように、政府やマスコミの協同組合に対する無知、無理解、さらには無視は止まるところを知らない。経済成長戦略にとっては株式会社企業こそが有利であって、協同組合はむしろ足枷というか、邪魔な存在としてみなされているかのようだ。

日本においては、協同組合の「社会的承認」には厳しい環境にある。「顧客化」現象も相俟って、足元の組合員でさえ協同組合への認識について覚束ない。社会において存在価値を見だし、「承認」の感覚を得られる居場所を得るためには、協同組合としてのアイデンティティの確立がなにより重要である。それには、ミッション＝「協同組合は何のために存在するのか?」、ビジョン＝「協同組合は何をめざしているのか?」、バリュー＝「協同組合は何を大切に事業・活動するのか?」を再確認する必要がある。

協同組合は地域社会の一つの「器」である。その「器」の特性・本質は、自治と相互扶助を基本に、参加・平等に基づく民主主義、教育などを運営原則とする。原則は協同組合のアイデンティティでもある。民主主義は教育システムでもある。これらの原則に基づく組織運営は、組合員の潜在能力を引き出し、創造力を育み、コミュニティ、地域社会の組織的エンパワーメントへ連鎖、波及していく。まさに、人間やコミュニティの潜在能力、可能出力すなわちケイパビリティの向上につながる。そして、そのケイパビリティが人間の成熟、社会的問題の創意工夫ある解決能力・機能ベクトルを引き出していくことになる。

地域社会のなかで、組合員たる住民の暮らしにかかる公共的な関心事項について共に考え、当事者として社会の意思決定にかかわる、そしてそれぞれの立場、事情に応じて「公共の務め」を引き受ける・・・協同組合自らが「公民」としてのシティズンシップを発揮していくという「当事者意識」が重要である。大事なことは、協同組合としての「価値の共有」である。価値の共有について、哲学者の内山節は、「それはみんなが同じ価値を保有する、ということではなく、価値観の交換によって価値の共有が生まれる」として、「新しい価値を共有する社会をつくらうとするならば、その新しい価値が関係をつくり、交通し、交換される方法をつくりださなければならない」（『ローカリズム原論—新しい共同体をデザインする』）と語る。仮に、組織・団体間で「分断」があるとすれば、それは意見が分かれているということではなく、価値観の異なる人々の間で交通、交換がないということかもしれない。助け合い、支え合い、相互扶助のネットワークによって、そして新しい価値観・社会観が交通・交換することによって地域コミュニティにおける共存関係も修復していくことになるだろう。

不安感にも似た閉塞感が社会全体を覆い、新たな社会目標や価値観をいまなお見出しえていないか

に見えるなかで、協同組合のアイデンティティの確立のためには、公共哲学的視点と社会観の構想力が問われることになる。協同組合セクターとして、どのような社会像を構想するのか？ 第6原則「協同組合間協同」、第7原則「地域社会への配慮・関与」も、パラダイム転換としての新たな社会像、社会観が共有されていなければ結実していかないだろう。「ネットワークの本質は『浸透』であり、その浸透作用によって、組織の『排除』作用で一度失われた連結可能性を回復し、再吟味し、再利用できる選択肢を増やすことにある」（西口敏宏『ネットワーク思考のすすめ』）。「自助」「公助」の限界と課題が明らかになるなかで、福祉・子育て・教育・雇用・防災・環境・再生可能エネルギー問題などを切り口にした「共助」「協同労働」「住民自治」による地域づくりの総合的なデザインが課題となっている。これまでの協同組合間協同の到達点をどう評価するか、また公共的関心事項との接点でその連結可能性をどのように回復・再吟味・再利用していくのか？

シンポジウムでは、ユネスコ登録を契機に、協同組合に対する国民的リテラシーの向上と社会的承認のステップアップのあり方も含めて、非営利・協同のネットワーク、連帯システムの課題について議論したい。

座長解題 松岡 公明（農林漁業団体職員共済組合）

報告

第1報告 大高 研道（明治大学）「コミュニティ媒介者としての協同組合の位置と役割  
～「手段」としての協同から「目的」としての協同の時代に～」

第2報告 石田 正昭（龍谷大学）「協同組合間協同：理念を実践する」

コメント

コメンテーター1 志波 早苗（一般社団法人くらしサポート・ウィズ）

コメンテーター2 田嶋 康利（日本労働者協同組合連合会）

コメンテーター3 岡村 信秀（広島県生活協同組合連合会）

パネルディスカッション / 会場討論 / 座長総括

## 臨時総会、新理事会

大会シンポジウム終了後、臨時総会、学会賞の表彰式、新理事会を行います。会員、新理事の皆さまのご出席をお願いします。

日 時： 9月23日（土）17：10～18：00

会 場： 徳島大学 総合科学部1号館3F 301教室

主な議題：① 第19期（2017.9～2年間）役員の選出について

② その他

※ 臨時総会終了後、同じ会場で新理事会を開催します。

主な議題：① 会長、副会長の選出について

② その他

## 交流会

日 時： 9月23日（土）18：15～19：50

会 場： 徳島大学 食堂 Dining きらら ※ 前掲の会場案内図を参照して下さい。

参加費： 一般会員4,000円、学生会員3,000円です。

準備の都合上、参加申込ハガキで事前に申し込んで下さい。なお、交流会参加費振込後は返金いたしません。



## 日本協同組合学会 第18期第5回(2017年度第2回)理事会

大会1日目の9月22日(金)に理事会を開催します。理事の皆さまのご出席をお願いします。  
詳細は、後日ML等でご案内します。

日 時： 9月22日(金) 17:00~18:30  
会 場： 徳島大学 総合科学部1号館2F第2会議室  
主な議題： ① 2017年度学会賞の選考について  
② その他

## 9月24日(日) エクスカーション

< 企画趣旨 >

1日目の地域シンポの内容とも関連を持たせつつ、徳島県を代表する地域活性化の好事例である上勝町(株)いろどり、徳島県最大のJA直売所であるJA東とくしまあいさい広場、ブランド産品であるなると金時のトップ産地JA里浦の取り組みを視察し、農業・農村振興における農協の果たす役割についての造詣を深めます。

< スケジュール >

8:15 JR徳島駅バス乗車場より発車 ※徳島駅から下道、所要時間1時間40分

10:00-11:00 上勝町 株式会社いろどり(徳島県勝浦郡上勝町福原字平間71-5)にて説明・見学  
※全国的にも有名な“葉っぱ”ビジネス・地域活性化の好事例

12:15-13:40 JA東とくしま 産直市 あいさい広場(小松島市立江町炭屋ケ谷47-3)にて昼食・見学  
※12:15-13:00(昼食)、13:00-13:40(見学)  
※徳島県の最大の農産物直売所・販売額10億円超

15:00-16:00 JA里浦の取り組み(鳴門市里浦町里浦字花面233番地1)にて説明・見学  
※徳島県の特産品“なると金時”のトップ産地

14:30 徳島阿波踊り空港経由(途中下車)

16:30 徳島阿波踊り空港経由(途中下車)

※徳島阿波踊り空港発 東京行き ANA284 16時20分、JAL462 17時30分、ANA286 18時55分

17:15 JR徳島駅バス乗降口着

参加費 5,500円(昼食代含む)

# 2017年度 日本協同組合学会会員総会要録

1. 日時：2017年5月20日（土）16:50～18:15

2. 会場：JA ビル 36 階全中大会議室

3. 議長：石田正昭会長（龍谷大学）

4. 議題：

## 第1号議案 2016年度事業報告

田中企画担当副会長、北川総務担当常任理事、成田常任理事より説明があり、承認された。

## 第2号議案 2016年度収支決算・監査報告（2016.9.1～2017.3.31）

北川総務担当常任理事より収支決算報告、続いて志波早苗監事より監査報告があり、承認された。

※ 今年度より、「伊東学会賞基金」については、一般会計から切り離して運用することとした。

## 第3号議案 日本協同組合学会会則の改正について

北川総務担当常任理事より以下の会則改正の提案があり、承認された。

### ○ 改正理由

本学会の会則に「学生会員」の規定がないことから、次の通り会則第6条を改正する。

### ★ 改正案

会員の種別に「学生会員」を設け、次の通り改正する。

第6条 本会の目的に賛同するものを以て会員とし、会員は会費を納入するものとする。

会員は次の3種類とする。

(1) 普通会員（個人）

(2) 学生会員

(3) 賛助会員（団体）

（以下、同じ）

関連して、「日本協同組合学会会員種別と会費に関する細則」の制定が前日の理事会で承認されたことが報告され、会員総会においても了承された。

### ○ 制定理由

学生会員の規定、賛助会員の年会費、65歳以上の会員について、①学生会員の規定を明確にすること、②賛助会員の年会費を定めること、③長年、本学会に貢献してこられた方が定年等を機に退会され学会運営に支障をきたすケースが散見されることから、65歳以上会員の会費を見直すために、以下の細則を設ける。

「日本協同組合学会会員種別と会費に関する細則」

### 第1条 学生会員について

学生会員は、大学および大学院、またはこれに準ずる学校に在籍する者（職業を持つ社会人学生も含む）とする。なお、大学院等を修了後、常勤的な職業に就いていない者については、本人による申請に基づいて常任理事会で審議し、承認が得られれば学生会員とする。

2. 学生会員は、年会費等の減額を受けることができる。

### 第2条 賛助会員について

賛助会員は、本会の目的に賛同する機関・団体等で、年会費は、1口（1万円）以上とする。

### 第3条 65歳以上普通会員の会費と会員資格について

65歳以上の普通会員については、本人の申出により65歳になった年の次年度以降において会費5年分以上を一括納入すれば、生涯にわたって会員資格を得ることができる。

第4条 本細則の改正は、常任理事会の議を経て、理事会で決定する。

付則1. 本細則は、2017年5月19日より施行する。

会員より、「細則」に関連して、①65歳以上の会員比率を調査する必要がある、②賛助会員について「1口1万円」であることを明記する必要がある、③将来の財政状況を分析する必要がある、④65歳以上会員については現時点から新しいルールで行ってはどうか、といった意見が出された。

そこで、②については、細則の文言を「1口（1万円）」と修正し、④については現時点から新しいルールで運用することとした。①③については、今後、常任理事会等で調査・検討していくこととした。

#### 第4号議案 2016年度事業計画

田中企画担当副会長、北川総務担当常任理事より事業計画が提案され、承認された。

要点は、次のとおり。

##### 1. 総会、理事会・常任理事会の開催等について

学会事業年度の変更に伴い、役員の任期、大会の持ち方等については、当面は次の通り運営する。

- (1) 役員の任期と選出…従来通り、10月（秋大会時）から翌々年10月（秋大会時）までの2年間とする。秋大会時に臨時総会を開催し新役員（理事・監事）を選出し、引き続き行う新理事会で会長・副会長を互選する。
- (2) 学会賞、学会誌賞…従来通り、秋の大会時に開催する理事会で決定し、翌日の臨時総会で報告・表彰を行う。
- (3) 大会の持ち方…従来通り春大会（1日）、秋大会（3日）を継続する。

##### 2. 大会・研究会の開催および部会活動について

- (1) 第36回春季研究大会 2017年5月20日（土）東京・JAビル
- (2) 第37回大会 2017年9月22日（金）～24日（日）徳島大学総合科学部

##### 3. 学会誌『協同組合研究』の編集・刊行について

- (1) 第37巻第1号（通巻100号）2017年6月15日刊行予定
- (2) 第37巻第2号（通巻101号）2017年12月15日刊行予定

##### 4. 国際交流について

引き続き、韓国協同組合学会、中国社会科学院農村発展研究所との交流を継続する。

##### 5. 学会賞について

2018年度に向けた募集を行う。

##### 6. 組織・広報について

- (1) JC総研（学会事務局）との協力体制
- (2) 広報活動

ニューズレターの発行

- ・Vol. 29No. 1（通巻76号）2017年7月15日発行予定
- ・Vol. 29No. 2（通巻77号）2017年11月15日発行予定
- ・Vol. 29No. 3（通巻78号）2018年3月15日発行予定

※ 事業計画に関連して、①2018年度春季大会は、2018年5月に日本労協連（東京・池袋）で開催されること、②学会40年史の作成に向けて検討すること、③ライフアイゼン生誕200年企画について検討することが報告された。

#### 第5号議案 2017年度収支予算

北川総務担当常任理事より収支予算が提案され、承認された。

※ 新年度予算が、単年度で100万円近くの赤字予算となっていることについて、繰越金を有効に使う方針のもとで、①学会開催時の会場費の必要性、②常任理事、編集委員会を充実するために東京・関東以外からも担当者を配置していること（それに伴う旅費の増加）、③学会誌100号記念企画のためのテープ起こし代等の経費、④大会時の保育施設の設置や40年

史等の作成のため予備費を多く見積もっていること等の理由が説明された。  
 ただし、学会財政の状況も踏まえて今後は、①会費の納入率アップや過年度分の徴収、その他節減対策をはかること、②学会財政に関する将来的なシミュレーションを行うことなどが、前日の理事会で確認されたことが報告された。

**日本協同組合学会 2016 年度収支決算報告**  
**収支決算書**  
 (2016 年 9 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

**I. 収入の部**

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	進捗率	備考
1. 会費収入	700,000	455,000	65.0	
(1) 普通会员	0	0		
(2) 学生会員	0	0		
(3) 賛助会員	0	0		
(4) 過年度分	700,000	455,000	65.0	2012 年度～2015 年度
2. 事業収入	825,000	756,206	91.7	
(1) 秋季大会関係収入	690,000	629,500	91.2	第 36 回北海道大会(10/7～10/9)
① 参加費収入	197,500	182,500	92.4	118 名
② 会議費収入	492,500	447,000	90.8	交流会 69 名、エクスカーション 34 名
(2) 春季大会関係収入	0	0		
① 参加費収入		0		
② 会議費収入		0		
(3) 研究会関係収入	25,000	0	0.0	
(4) 機関誌収入	100,000	108,706	108.7	機関誌購読料
(5) 広告収入	0	0		
(6) 報告要旨集収入	10,000	18,000	180.0	第 36 回秋季大会 10 名
3. 雑収入	0	29		預金利息
収入合計 A	1,525,000	1,211,235	79.4	
前年度繰越金 B	7,442,266	7,442,266	100.0	伊東学会誌賞基金 850,000 円を含む。
収入総合計 C=A+B	8,967,266	8,653,501	96.5	

## II. 支出の部

勘定科目	予算額	決算額	前年比	備考
1. 事業活動費	2,327,500	2,123,064	91.2	
(1) 秋季大会関係費	1,142,500	1,063,073	93.0	第36回北海道大会(10/7~10/9)
①会場費・運営費	300,000	283,994	94.7	施設利用料、バイト料他
②資料印刷費	200,000	134,330	67.2	要旨集、地域ソポ冊子、表彰状等
③旅費・交通費	150,000	222,650	148.4	エクスカージョン・バス代、 報告者交通費3名、宿泊費(金会長)
④会議費	492,500	422,099	85.7	交流会60名分、お弁当代、 エクスカージョン謝礼3名等
(2) 春季大会関係費	0	0		
①会場費・運営費	0	0		
②資料印刷費	0	0		
③旅費・交通費	0	0		
④会議費	0	0		
(3) 研究会関係費	100,000	0	0.0	
(4) 機関誌発行費	855,000	929,991	108.8	第36巻1・2号(合併号)
①機関誌印刷費	460,000	486,140	105.7	
②機関誌発送費	75,000	51,487	68.6	
③機関誌編集費	320,000	392,364	122.6	編集業務委託費、テープ起こし代
(5) 学会賞	130,000	130,000	100.0	学術賞50,000円×2名、 実践賞30,000円×1名
(6) 国際交流費	100,000	0		
2. 事務局費	409,000	787,114	192.4	
(1) 資料印刷費	90,000	168,766	187.5	ニュースレター・資料印刷費等
(2) 通信費	140,000	157,554	112.5	会費請求、ニュースレター発送費等
(3) 会議費	12,000	38,400	320.0	理事会他
(4) 旅費・交通費	150,000	396,811	264.5	常任理事会等旅費交通費、大会交通費
(5) 雑費	17,000	25,583	150.5	振込・残高証明書発行手数料、事務用品 購入
3. 業務委託費	500,000	500,000	100.0	JC総研
4. 日本学会会議関係費	0	0		
5. 名簿作成費	100,000	0	0.0	
6. システム管理費	180,000	54,000	30.0	会計システム年度切替作業費
7. 予備費	200,000	0	0.0	
8. 学会誌賞基金繰入	0	850,000		貸借対照表への区分表示経理
支出合計 D	3,716,500	4,314,178	116.1	
次年度繰越金 E=C-D	5,250,766	4,339,323	82.6	
支出総合計 F=D+E	8,967,266	8,653,501	96.5	

**貸借対照表**  
(2017年3月31日)

(単位：円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
<b>流動資産</b>	5,526,661	<b>流動負債</b>	374,800
普通預金		預り金	100,000
ゆうちょ銀行	421,053	前受金	192,800
農林中央金庫	4,939,122	仮受金	82,000
三井住友銀行	166,486		
前払金	37,462	<b>伊東学会誌賞基金</b>	850,000
		<b>次年度繰越金</b>	4,339,323
		前年度繰越金	7,442,266
		当年度収支差額	-2,252,943
合 計	5,564,123	合 計	5,564,123

(注1) 前払金は第36回春季大会案内はがき・印刷等

(注2) 預り金は会員1名より。

(注3) 前受金は次年度会費

(注4) 仮受金は第36回春季大会参加費等

(注5) 前年度までは次年度繰越金の中には伊東学会誌賞基金が含まれていたが、今年度末より区分表示にした。

(付) 伊東学会誌賞基金明細書

期首残高	増加額	減少額	期末残高
850,000	0	0	850,000

**日本協同組合学会 2017 年度収支予算書**  
(2017年4月1日～2018年3月31日)

**I. 収入の部**

(単位：円)

勘定科目	2016年度決算額	2017年度予算額	前年比	備考
1. 会費収入	455,000	3,585,000	787.9	
(1) 普通会員	0	1,698,000		2015年度水準
(2) 学生会員	0	87,000		2015年度水準
(3) 賛助会員	0	1,430,000		45団体
(4) 過年度分	455,000	370,000	81.3	未納分(528,000円)の70%
2. 事業収入	756,206	1,350,000	178.5	
(1) 春季大会関係収入	0	390,000		第36回東京大会(5月20日(土)JAビル)
① 参加費収入	0	150,000		1,500円×100名
② 交流会費収入	0	240,000		4,000円×60名
(2) 秋季大会関係収入	629,500	690,000	109.6	第37回徳島大会(9月22日(金)～24日(日) 徳島大学)
① 参加費収入	182,500	197,500	108.2	1,500円×120名+地域シンポ(500円×35名)

② 交流会費収入	447,000	492,500	110.2	4,000円×75名+5,500円×35名(エクスカーション)
(3) 研究会関係収入	0	50,000		新理論研究会(参加費1,000円×25名)×2回
(4) 機関誌収入	108,706	200,000	184.0	機関誌購読料
(5) 報告要旨集収入	18,000	20,000	111.1	第36回春季大会・第37回秋季大会
3. 雑収入	29	100	344.8	預金利息
4. . 基金戻入		60,000		学会誌賞として
収入合計 A	1,211,235	4,995,100	412.4	
前年度繰越金 B	7,442,266	4,339,323	58.3	
収入総合計 C=A+B	8,653,501	9,334,423	107.9	

## II. 支出の部

勘定科目	2016年度決算額	2017年度予算額	前年比	備考
1. 事業活動費	2,123,064	4,052,500	190.9	
(1) 春季大会関係費	0	530,000		第36回東京大会(5月20日(土) J Aビル)
①会場費・運営費	0	130,000		交流会会場の施設利用料
②資料印刷費	0	60,000		
③旅費・交通費	0	100,000		
④交流会費	0	240,000		4,000円×60名
(2) 秋季大会関係費	1,063,073	1,242,500	116.9	第37回徳島大会(9月22日(金)～24日(日) 徳島大学)
①会場費・運営費	283,994	350,000	123.2	施設利用料、バイト料他
②資料印刷費	134,330	200,000	148.9	要旨集、地域シンポ冊子、表彰状等
③旅費・交通費	222,650	200,000	89.8	エクスカーションバス代、報告者・受賞者の旅費交通費
④交流会費	422,099	492,500	116.7	4,000円×75名+5,500円×35名(エクスカーション)
(3) 研究会関係費	0	120,000		新理論研究会、部会活動費
(4) 機関誌発行費	929,991	1,870,000	201.1	第37巻1号、2号
①機関誌印刷費	486,140	930,000	191.3	
②機関誌発送費	51,487	140,000	271.9	
③機関誌編集費	392,364	800,000	203.9	編集業務委託費、テープ起こし代の増加
(5) 学会賞	130,000	130,000	100.0	学術賞50,000円×2名、実践賞30,000円×1名
(6) 学会誌賞		60,000		30,000円×2名
(7) 国際交流費	0	100,000		
2. 事務局費	787,114	1,225,000	155.6	
(1) 資料印刷費	168,766	180,000	106.7	ニュースレター・封筒印刷代
(2) 通信費	156,034	270,000	173.0	会費請求、ニュースレター発送費等

(3) 会議費	38,400	40,000	104.2	
(4) 旅費・交通費	396,811	700,000	176.4	常任理事会、編集委員会等への出席にかかる旅費交通費
(5) 雑費	27,103	35,000	129.1	振込手数料等
3. 業務委託費	500,000	300,000	60.0	JC 総研
4. 日本学術会議関係費	0	0		
5. 名簿作成費	0	0		
6. システム管理費	54,000	54,000	100.0	年度更新
7. 予備費	0	300,000		
支出合計 D	3,464,178	5,931,500	171.2	
次年度繰越金 E=C-D	5,189,323	3,402,923	65.6	
支出総合計 F=D+E	8,653,501	9,334,423	107.9	

## ※ その他

会員から、「共謀罪に対する反対声明」を出してはどうか、という提案があり、協議の結果、諮問委員会を作って早急に態度を決めるということで承認を得た。その後、石田会長の判断で諮問委員会（委員は、関会員、柳沢会員）を設置し、検討・答申（末尾の資料参照）が行われた。その結果を踏まえて常任理事会で審議し、今回は「反対声明を出さない」こととした。

### 【資料】

日本協同組合学会  
会長 石田 正昭 殿

#### 「共謀罪」に関する諮問に対する答申

いわゆる「共謀罪」をめぐる「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」（組織的犯罪処罰法）の改正法案に関し、次のように答申致します。

この改正案の中心は「共謀罪」を創設しようとする法案である。「共謀罪」は個人の内心や思想に深く入り込み、それらの自由を根本から規制しようとする極めて問題のある刑罰規定である。憲法が保障する基本的人権を尊重し、人と人との信頼関係や、誠実、親切、思いやりといった「心のあり方」を大切にする日本協同組合学会においては、このような危険な法案に不安と危惧の念を抱くのは当然である。特に、改正法案の第6条の2で掲げる別表の中に、共謀罪が対象となる法律として「森林法」及び「種苗法」が列挙されていることは、学会会員に疑念と不安を抱かせる原因の一つでもある。

しかし、この法案は、「協同組合」を直接対象として規制しようとするものではなく、また法案の内容につき会員の十分な認識と理解を得ているわけでもない。日本協同組合学会会員の中から、反対声明を意識した提案があったことは尊重すべきであるが、学会として反対声明を提示するに足る専門的な知識もなくそのための議論も経ていない。したがって、学会として直ちに反対声明を出し、それに対して責任を負うという学会の体制状態にはないと判断する。

なお会員からの提案を尊重し、今後学会としてこの問題を扱う場合は、外部の専門家を囲んだ勉強会や新理論研究会での意見交換を通じた専門知識の積み重ねが必要であると思料する。

以上

## ※ 2018年度 春季研究大会

2018年5月12日（土）日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会（東京・池袋）で開催します。